

光村図書の

ユニバーサルデザイン

すべてのの

子どもたちに

寄り添い

誰もが

学びやすい

教科書づくり



教科書「に」合わせる、ではなく 教科書「が」合わせる、へ

支援が必要かどうかにかかわらず、
さまざまな子どもがともに学ぶ
インクルーシブ教育システムの理念構築
〔新しい時代の特別支援教育の在り方に関する
有識者会議報告〕（令和三年一月他）に向け、
光村図書は真剣に教科書づくりに取り組んでいます。

一人一人の多様な教育的ニーズに応えるために、
編集・製作スタッフ全員が必要な研修を受け、
専門家とともに、教科書編集のスタート時から、
仕様や体裁、紙面づくりの細部に至るまで、
ユニバーサルデザインの実現を追究しています。



特別支援教育への観点から

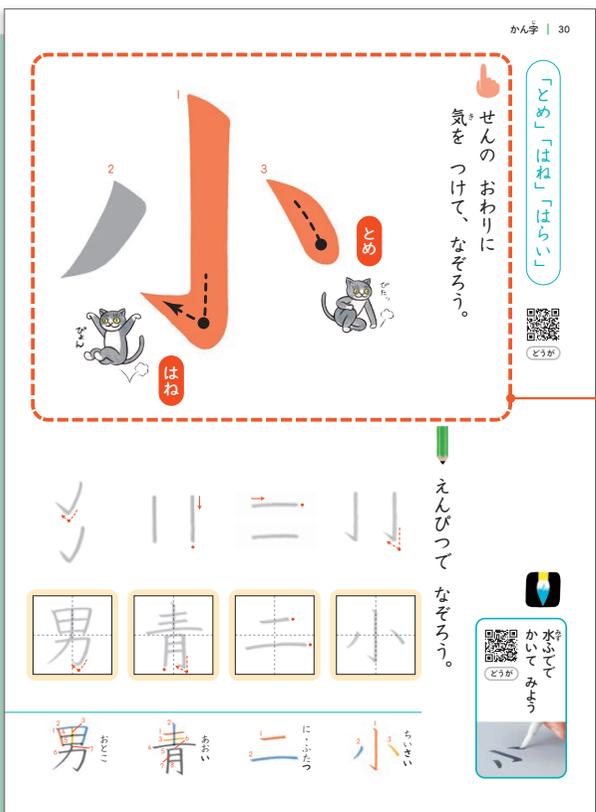
教科書の
紙面の
ユニバーサル
デザイン

支援の必要な子にも、
理解しやすい紙面を
工夫しました

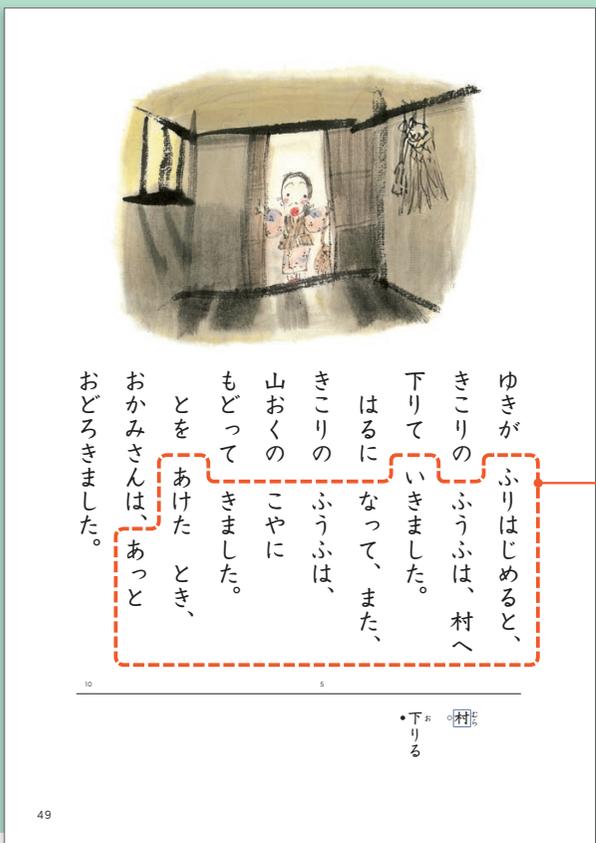
学習の中心を
大きく、
大切なことが
ひと目で
わかるように

低学年では、
単語や文節の
途中で改行
しないように

すべての子どもたちが学びやすくなるよう、専門家の監修のもと、ユニバーサルデザインに対応し、紙面の構造化や誤解の生じにくいレイアウトを実現しました。支援が必要な子への配慮が、全員の学びやすさにつながります。



▲「書写」1年 P30



▲「国語」1年下 P49



写真やイラストは、境目をわかりやすく



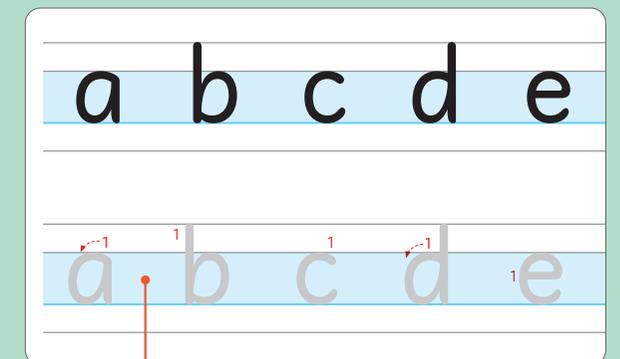
写真の上に載る文字も読みやすく



左上の問いかけ、六角形で示されたヒント、右下の振り返りなどの配置がパターン化されているので理解しやすい



挿絵に登場人物名を記載し、判別しやすく



初めて小文字を書く段階では、書くスペースが判別しやすいように4線に着色

「ユニバーサルデザイン (以下、UD) とは「障害の有無にかかわらず、誰もが使いやすい工夫」として工業製品などへの考えからスタートしました。教育においてもこの考え方を取り入れる動きが広く起きるようになりました。

「誰もが」使う「教科書」は、当然UDの視点で作らなければなりません。学習に「つまづき」のある子にとっては、色フォント、ページ構成の配慮に留まらず、挿絵の意味、問われ方、説明内容など、もっと踏み込んだUDの工夫が必要になります。光村図書の教科書では、こうした工夫を紙面の細部に至るまで施し、結果的に「つまづき」だけでなく、「多様性」へと配慮した教科書となっています。

こめき・さてる 明星大学教授
専門は、LD・ADHD・高機能自閉症などへの援助技法の研究。日本LD学会常任理事、日本授業UD学会常任理事を務める。

「多様性」に配慮する ユニバーサルデザイン

小貫 悟

発達段階と教科特性に

応じた配慮の徹底

学びやすさの
追究

教科・学年によって、
「学びやすい」は
違います



製紙会社と協力して、できるだけ重量が軽く、色の裏写りが少ない用紙を開発しています。

学年によって発達段階に大きな差がある小学校では、一年生と六年生にとって、それぞれに求められる教科書の特性は異なります。光村図書では、判型・体裁をはじめ、使う書体の一つ一つに至るまで、その学年、その教科にふさわしいものになっているかを徹底的に吟味しています。

教科特性に応じた判型

両手で持って教科書を読むことが多い「国語」「道徳」、児童が書写する文字を原寸大で掲載する「書写」、教科書を参考にした活動が中心の「生活」「外国語」——光村図書では、それぞれの教科特性に応じて、ベストな判型を選択しています。

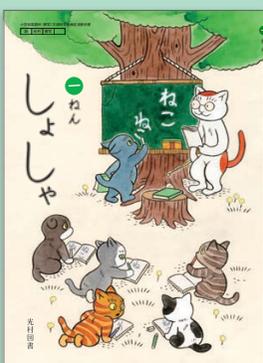
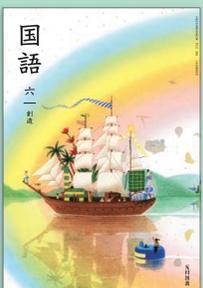
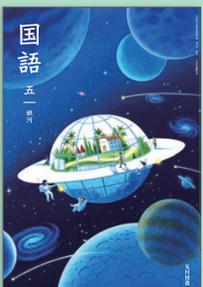
ランドセルの中身をなるべく軽く



幼稚園・保育所からの大きな環境の変化を経験する一年生。「初めて」のことがばかりの一年生の学びには、余計な負担がかからないようにしてあげることが大切です。光村図書では、教材を選定することでページ数を抑え、教科書を軽くしています。

高学年は、見通しと振り返りを優先

高学年になると、一年間の学びの見通しをもち、前に学んだことを振り返りながら、自ら学習を進める姿が見られるようになります。そのような主体的な学びへ誘うために、光村図書「国語」では、高学年は学年一冊に、学習効果を高めるとともに、教科書の総重量の軽減にもつながっています。



「書写」は、令和6年度版から横幅を5mm大きくし、半紙と同じ比率のB5変型判。



「生活」は、写真やイラストを大きく掲載でき、一目で学習の見通しがつかみやすいA4判。

文字のユニバーサルデザイン

低学年では、「見やすい文字」を
中学年以上では、「読みやすい文字」を

光村図書では、文字学習の見本として手書き文字に近い書体を独自に開発しています。さらに、低学年では、太教科書体を標準とすることで、児童が文字の形をはっきりと認識しやすくなるよう配慮しています。

全教科で
UDフォントを採用

文字が小さい箇所などに見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

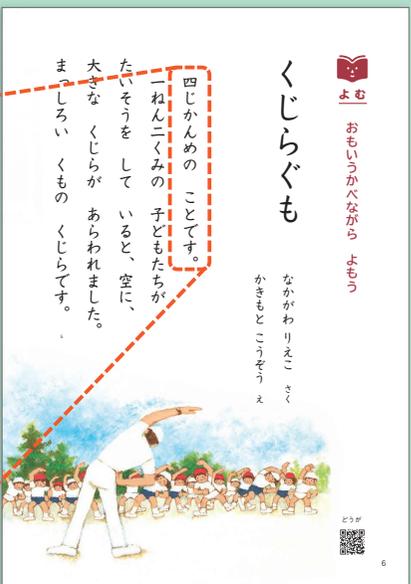
発達段階に応じた文字の読みやすさを追究

氏間和仁

みなさんは日常的に目にする文字を読んでいて、文字の形を捉えにくいとか、文字が揺れているようななどといった感覚を覚えることや、文字からそんな感覚を受ける人がいることをご存じでしょうか。そこで開発されたのがUDフォントです。UDフォントは、従来の読みやすさを損なうことなく、読みにくいと感じる要素を取り除いたり低減したりしてデザインされたフォントです。

このフォントを教科書に採用することは、より多くの児童生徒の教科書へのアクセスを可能にします。さらに光村図書の教科書の文字は筆写する際の手本にできるよう、とめはねなどがわかりやすくなっていたり、画数を捉えやすくなっていたりします。また、発達段階を考慮し、低学年では太めの教科書体が用いられ、中学年以降では小さくなった文字でも読みやすいよう標準の教科書体が用いられています。

うじま・かずひと 広島大学大学院准教授
専門は、特別支援教育、視覚障害教育、日本弱視教育研究会理事、日本特殊教育学会編集委員を務める。



▲「国語」1年下P6



▲「生活」上巻P46

▲「道徳」6年P131

一・二年で使用している太教科書体

「旅に出たいなあ。」

三年以上の教科書体

微妙な太さの違いが、児童の見やすさ・読みやすさ・理解のしやすさに大きく影響します。



UDフォントマークを取得しました。

誰もが使いやすい 学習者用デジタル教科書

学びを支える
ツール

個別最適な学びを支える
カスタマイズ機能

令和六年度からは、小中学校の英語で学習者用デジタル教科書が全校に導入されるなど、デジタル端末の活用が進みます。光村図書のデジタル教科書は、多彩なカスタマイズ機能により、さまざまな特性の子どもたちの頼もしい味方となります。すべての子どもたちにとって学びやすく、インクルーシブ教育を実現する道具としての活用が期待されています。

ハイライト表示をしながら読み上げ



一文ずつハイライト（強調）表示しながら文章を機械音声で確認できるため、見え方に特性のある子どもや、読むことに困難のある子どもの学習の助けになります。英語の教科書紙面の英語表記は、ネイティブのナレーターの声で読み上げます。

再生速度の調節



英語の「学習者用デジタル教科書」では、音声や映像の再生速度を調節することができます。

文字の色やサイズ、背景色をカスタマイズ



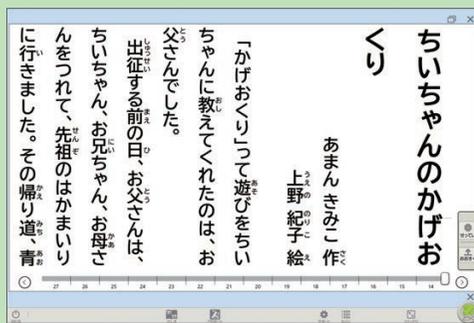
文字の色や大きさ、フォント、背景色、振り仮名の色、分かち書き、縦書きと横書きの変更などを自由に組み合わせることができるので、視覚特性のある子どもや読むことに困難のある子どもの読みの負担を軽減できます。

「ふせん」機能



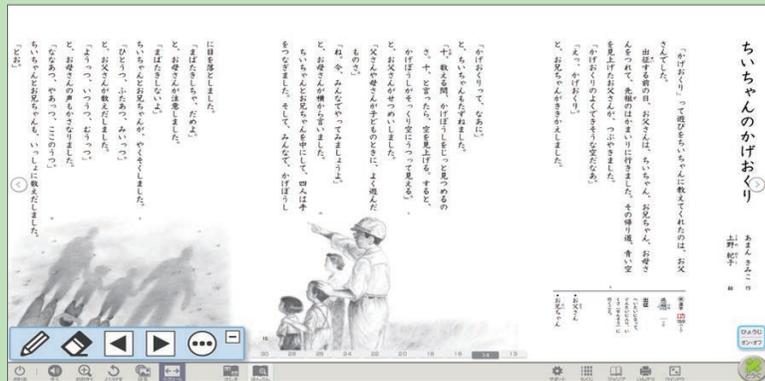
テキストボックスで、紙面上に考えを自由に入力できる「ふせん」機能により、書くことに困難のある子どもでも、思考を整理しやすくなります。

すべての漢字に振り仮名を表示



振り仮名の表示・非表示が選択できるので、漢字が苦手な子どもや、日本語指導を必要とする子どもも文章の内容を捉えやすくなります。

ページをめくらずに読むことが可能に



「スクロール」モードは、教科書のページをすべてつなげた状態で見られる機能です。見開きをまたいで見渡せるため、ページめくりに伴う視線移動が苦手な子どもの助けになります。

すべての子どもの 学びをスムーズに

加藤直樹

デジタル教科書でも、紙の教科書のUDを継承しています。加えて、本ページで紹介しているデジタルならではの機能によって、教科書を用いながら認知し思考し表現する学びを、すべての子どもがスムーズに進められるよう配慮しています。特に国語における文に沿ってきれいに線が引ける機能や、英語における英語の単語や文をクリックするだけで読み上げてくれる機能は、主体的・対話的な学びへのシフトを手助けします。

また、視聴覚特性等による個別ニーズのために、さまざまなカスタマイズ機能を設けました。紙の教科書では拡大教科書のような固定的にカスタマイズされたものを一部の子どもが使っていますが、デジタル教科書ではすべての子どもが特性に合わせて自由にカスタマイズでき、個別最適な学びを支える頼もしいツールになります。

かとう・なおき 東京学芸大学教授
専門は、情報工学。教育の情報化に関する研究に従事。「AI時代の教育学会」理事を務める。

新設しました。 CSRページを

トップ > 企業情報 > 未来を担うすべての人のために——光村の社会的責任



未来を担うすべての人のために —— 光村の社会的責任

光村図書は、すべての子ども、そしてすべての人々が豊かな心と言葉を育み、いつまでも学ぶ喜びを実感できるものを作り、届け続け、それを通じて新しい文化を創造していくことに寄与します。

20年近く前の少年野球の試合で、6-4-3のダブルプレイがありました。全員が4年生以下。おんぼろグラウンドでの練習試合でしかなかったのに、生まれて初めてダブルプレイを成功させた選手たちは、こぶしを突き上げてベンチに走ってきました。笑顔とも違う「できた」「やった」という表情。セカンドはうちの息子でしたが、お父さんコーチとしてベンチで出迎えた自分は、そんなことに関係なく胸がいっぱいになりました。

何を目指し、どう考え、どこから取り組むか。教科書発行という仕事を通して光村図書が実現したい「未来」は、社員一人一人にとって違う像でしょう。ですが、自分はその日の少年たちの姿こそが「未来」ではないかと、今も思っています。

何を変えなくてはならないのか。変わってはいけないことは何か。何度も自分に問い直し、自身の生き方も変えるべきは変える。抽象的な言葉に頼るのではなく、目に見えるものとして「未来」を捉える。それが、光村図書の育興う責任だと考えています。



代表取締役社長
吉田 直樹

光村図書が実現したい3つの未来

- すべての子どもたちに学ぶ喜びを
- 言葉の力で人をつなぐ
- すこやかに暮らせる環境をいつまでも

光村図書 ウェブサイトにも、 ウェブサイトに、



LINE 公式アカウント **友だち募集中!**

授業づくりに役立つ情報を、いち早くお届けします。



光村図書ウェブサイト

光村図書

検索



内容解説資料

発行人 吉田直樹

発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話：03-3493-2111

印刷所 協和オフセット印刷株式会社

デザイン mg-okada

子どもたちの未来のために、光村図書は、教科書の作成にあたって、「環境」「健康」「子どもの特性」に配慮しています。

- ・原料や製法など、環境に配慮した紙を使用しました。
- ・環境と健康にやさしい、エコマーク認定の植物油インキで印刷しました。
- ・児童の負担を軽減するため、堅牢で薄い紙を開発し、使用しています。
- ・カラーユニバーサルデザインに関して、細心の注意を払いました。
- ・児童の学習負担を軽減するように配慮された書体を使用しました。
- ・特別支援教育の視点から、専門家の入念な校閲を受けました。



光村図書